

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2008年8月28日から2023年8月15日まで
運用方針	安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	ベビーフンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド受益証券、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接債券および短期金融商品等に投資する場合があります。
	マザーファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドの各ページをご参照ください。
組入制限	ベビーフンド マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限ります。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドの各ページをご参照ください。
分配方針	<毎月分配型>原則として、毎決算時(毎月15日。ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から配当等収益等を中心に安定した分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等を勘案して安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。(ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。)<年2回決算型>原則として、毎決算時(2月15日および8月15日。ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から基準価額水準等を勘案して分配金額を決定します。(ただし、委託者の判断により分配を行わないこともあります。)<収益の分配にあてなかつた利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。>

運用報告書に関するお問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インバーストメント・マネジメント株式会社
業務部

〒100-8109 東京都千代田区大手町一丁目 9 番 7 号

大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

電話番号：03-6836-5140

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.morganstanley.com/im/jp

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

Morgan Stanley

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信

(毎月分配型)

(年2回決算型)

運用報告書(全体版)

(毎月分配型)

第150期(決算日 2021年3月15日)

第151期(決算日 2021年4月15日)

第152期(決算日 2021年5月17日)

第153期(決算日 2021年6月15日)

第154期(決算日 2021年7月15日)

第155期(決算日 2021年8月16日)

(年2回決算型)

第26期(決算日 2021年8月16日)

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(毎月分配型)」は、第150期～第155期までの決算、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(年2回決算型)」は、第26期の決算を行いましたので当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■最近5作成期の運用実績

作成期	基準価額 (分配落)	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		円	円	%			
第22作成期	126期（2019年3月15日）	4,966	30	0.7	96.5	—	3,323
	127期（2019年4月15日）	4,963	30	0.5	96.4	—	3,308
	128期（2019年5月15日）	4,719	30	△4.3	96.7	—	3,140
	129期（2019年6月17日）	4,713	10	0.1	96.3	—	3,105
	130期（2019年7月16日）	4,829	10	2.7	97.4	—	3,085
	131期（2019年8月15日）	4,581	10	△4.9	97.7	—	2,895
第23作成期	132期（2019年9月17日）	4,703	10	2.9	96.7	—	2,954
	133期（2019年10月15日）	4,687	10	△0.1	96.8	—	2,920
	134期（2019年11月15日）	4,720	10	0.9	97.0	—	2,885
	135期（2019年12月16日）	4,816	10	2.2	96.6	—	2,871
	136期（2020年1月15日）	4,866	10	1.2	89.0	—	2,846
	137期（2020年2月17日）	4,761	10	△2.0	97.9	—	2,703
第24作成期	138期（2020年3月16日）	4,308	10	△9.3	96.6	—	2,371
	139期（2020年4月15日）	4,165	10	△3.1	86.2	—	2,283
	140期（2020年5月15日）	4,150	10	△0.1	96.6	—	2,260
	141期（2020年6月15日）	4,392	10	6.1	96.5	—	2,382
	142期（2020年7月15日）	4,403	10	0.5	96.9	—	2,361
	143期（2020年8月17日）	4,361	10	△0.7	97.0	—	2,313
第25作成期	144期（2020年9月15日）	4,360	10	0.2	96.8	—	2,304
	145期（2020年10月15日）	4,264	10	△2.0	97.1	—	2,241
	146期（2020年11月16日）	4,356	10	2.4	96.5	—	2,242
	147期（2020年12月15日）	4,427	10	1.9	96.7	—	2,244
	148期（2021年1月15日）	4,458	10	0.9	97.2	—	2,240
	149期（2021年2月15日）	4,539	10	2.0	97.4	—	2,243
第26作成期	150期（2021年3月15日）	4,582	10	1.2	96.8	—	2,248
	151期（2021年4月15日）	4,553	10	△0.4	96.7	—	2,211
	152期（2021年5月17日）	4,644	10	2.2	86.8	—	2,237
	153期（2021年6月15日）	4,683	10	1.1	87.2	—	2,226
	154期（2021年7月15日）	4,551	10	△2.6	97.3	—	2,125
	155期（2021年8月16日）	4,503	10	△0.8	97.2	—	2,079

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率		
第150期	(期 首) 2021年 2 月 15 日	円 4,539	% —	% 97.4	% —
	2 月 末	4,516	△0.5	97.1	—
	(期 末) 2021年 3 月 15 日	4,592	1.2	96.8	—
第151期	(期 首) 2021年 3 月 15 日	4,582	—	96.8	—
	3 月 末	4,532	△1.1	86.5	—
	(期 末) 2021年 4 月 15 日	4,563	△0.4	96.7	—
第152期	(期 首) 2021年 4 月 15 日	4,553	—	96.7	—
	4 月 末	4,622	1.5	96.7	—
	(期 末) 2021年 5 月 17 日	4,654	2.2	86.8	—
第153期	(期 首) 2021年 5 月 17 日	4,644	—	86.8	—
	5 月 末	4,663	0.4	97.0	—
	(期 末) 2021年 6 月 15 日	4,693	1.1	87.2	—
第154期	(期 首) 2021年 6 月 15 日	4,683	—	87.2	—
	6 月 末	4,626	△1.2	97.1	—
	(期 末) 2021年 7 月 15 日	4,561	△2.6	97.3	—
第155期	(期 首) 2021年 7 月 15 日	4,551	—	97.3	—
	7 月 末	4,547	△0.1	97.5	—
	(期 末) 2021年 8 月 16 日	4,513	△0.8	97.2	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 金 騰 落	中 率			
22期（2019年8月15日）	円 8,871	円 0	% △5.3	% 97.9	% —	百万円 893
23期（2020年2月17日）	9,338	0	5.3	97.5	—	874
24期（2020年8月17日）	8,635	0	△7.5	97.5	—	781
25期（2021年2月15日）	9,123	0	5.7	98.0	—	772
26期（2021年8月16日）	9,169	0	0.5	97.6	—	765

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率			
(期 首)	円	%	%	%
2021年2月15日	9,123	—	98.0	—
2月末	9,078	△0.5	98.0	—
3月末	9,131	0.1	87.1	—
4月末	9,333	2.3	97.5	—
5月末	9,437	3.4	97.9	—
6月末	9,379	2.8	98.0	—
7月末	9,237	1.2	98.6	—
(期 末)				
2021年8月16日	9,169	0.5	97.6	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

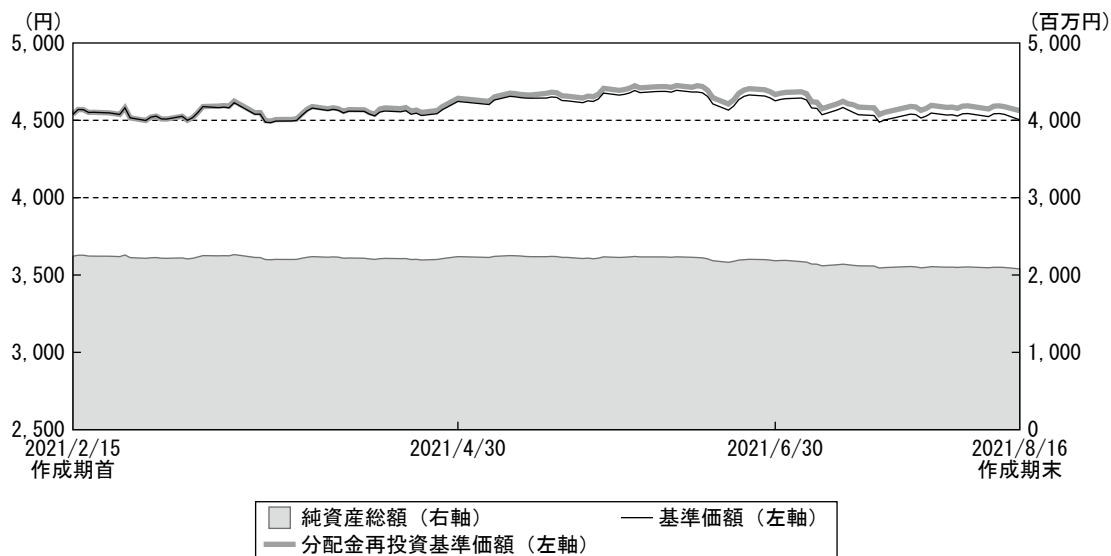
(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■運用経過（2021年2月16日から2021年8月16日まで）

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

基準価額等の推移



第150期首：4,539円
 第155期末：4,503円（既払分配金60円）
 騰落率：0.5%（分配金再投資ベース）

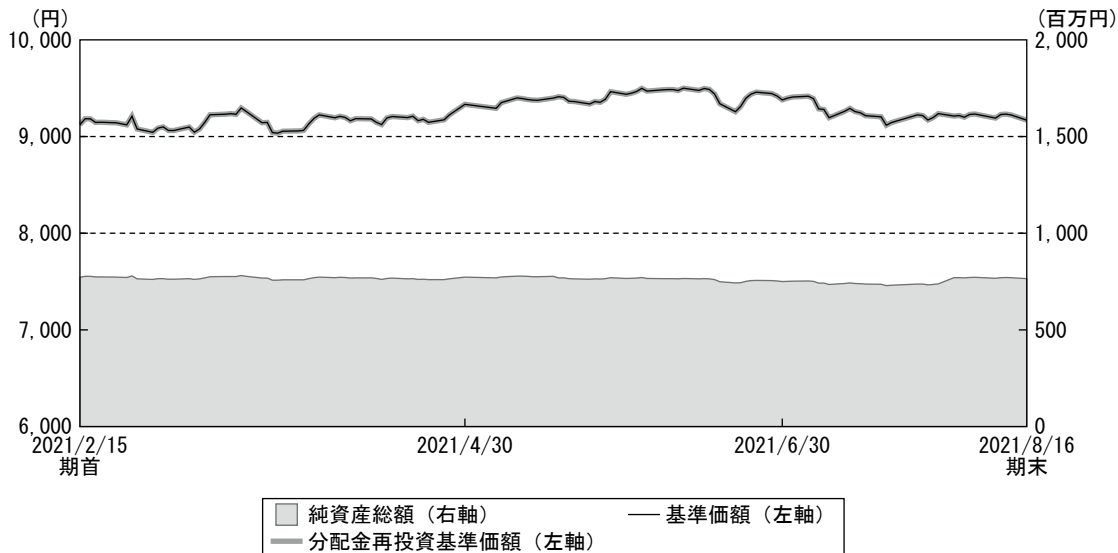
- （注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、作成期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- （注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注3）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期は、安定したインカム・ゲインを獲得した一方で、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で横ばい程度で推移したため、基準価額は上昇し、作成期首に4,539円でスタートした基準価額は作成期末には4,562円（分配金再投資ベース）となりました。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

基準価額等の推移



第26期首：9,123円

第26期末：9,169円（既払分配金0円）

騰落率：0.5%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

基準価額の主な変動要因

当期は、安定したインカム・ゲインを獲得した一方で、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で横ばい程度で推移したため、基準価額は上昇し、期首に9,123円でスタートした基準価額は期末には9,169円となりました。

投資環境

ワクチン接種の進展に伴い経済正常化の動きが加速する中、投資家のリスクテイク姿勢が回復したことで、一部の通貨を除いて高金利通貨は上昇する展開となりました。また、リフレ色が強まる中、コモディティ価格が上昇したことや、新興国中銀の利上げも高金利通貨のサポート要因となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、マザーファンドへの投資を通じて相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨/国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨/国を投資対象としました。

(1) 投資通貨について

期首には、マザーファンドへの投資を通じて、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

今期については、米ドルからカナダ・ドルへの入れ替えを行いました。カナダについては、2020年には経済の大きな落ち込みが見られた一方で、ワクチン接種の拡大や、金融政策及び財政政策による後押しにより2021年以降は力強い景気回復が見込まれます。加えて、グローバルに景気の回復傾向が見込まれる局面では、資源に対する需要の高まりを背景に、同国の主要輸出品である原油価格にも上昇圧力が加わる可能性が想定され、同国経済やカナダ・ドルがサポートされると考えられます。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
カナダ・ドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

(2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

分配金

（毎月分配型）

当作成期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第150期～155期各10円（作成期中合計60円）とさせていただきます。第155期におけるボーナス分配につきましては見送らせていただきました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期
	(2021年2月16日～ 2021年3月15日)	(2021年3月16日～ 2021年4月15日)	(2021年4月16日～ 2021年5月17日)	(2021年5月18日～ 2021年6月15日)	(2021年6月16日～ 2021年7月15日)	(2021年7月16日～ 2021年8月16日)
当期分配金	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	0.218%	0.219%	0.215%	0.213%	0.219%	0.222%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	191	197	209	217	220	224

（年2回決算型）

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、期中に生じた利子等の分配原資に関しては、収益分配を見送りました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	当期
	(2021年2月16日～2021年8月16日)
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,545

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、マザーファンドへの投資を通じて各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

マクロ環境に関しては、グローバルでのワクチン接種の拡大により経済の正常化が進展し、景気回復の加速が想定されます。短期的には感染再拡大に伴う不透明感の一方で、これまでの景気回復の進展等を受け、米国等において量的緩和政策の縮小等の議論が進む可能性があり、金融政策の動向次第では、金利市場をきっかけとする市場ボラティリティの上昇には留意が必要と考えています。しかし、大幅な需給ギャップ等を背景に、中長期的に懸念される程にはインフレは高まらないと考えております。そのような環境下、先進国主要中銀による緩和的な金融政策が長期化し、特に欧州や日本の債券市場を中心とした低金利環境が続く中、高金利通貨に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

新興国に関しては、先進国の緩和的な金融政策の継続に加えて、新興国通貨は景気回復局面で堅調な推移となる傾向があることもポジティブな要因として考えられます。中長期的観点から、米国の実質金利が依然として低いこと等は米ドル安要因として考えられ、米ドル安が進展することは新興国通貨のサポート要因として考えられます。一方、短期的には米国の量的緩和政策の縮小や利上げ開始時期などに不透明感があることに留意が必要と考えています。

今後も一部の通貨のボラティリティが高まる状況が見られる可能性は残るものの、10通貨に分散することで一部通貨の影響を軽減することが出来ると考えています。加えて、中長期的には高金利通貨への投資により比較的高いキャリーを積み上げることがパフォーマンスの下支えになると期待されます。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入債券においては、各国の国債を中心に投資し、インカム・ゲインを中心に安定した収益獲得を目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第150期～第155期		項目の概要
	(2021年2月16日～2021年8月16日)		
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	24円 (11) (11) (1)	0.521% (0.247) (0.247) (0.027)	a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	4 (2) (1) (1)	0.084 (0.034) (0.027) (0.023)	b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	28	0.605	

当作成期中の平均基準価額は、4,584円です。

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

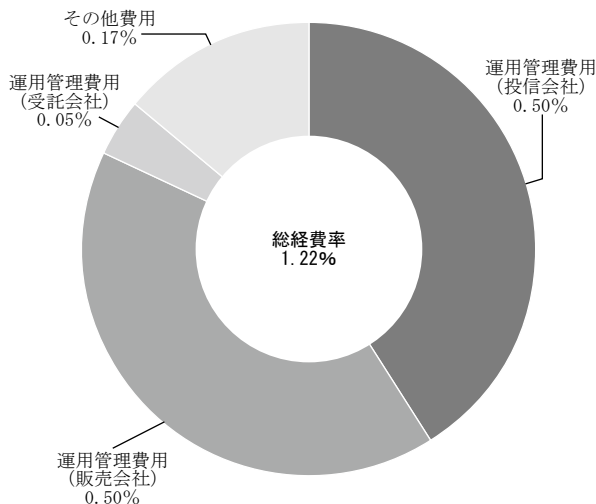
(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.22%です。



(注1) 各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2021年2月16日から2021年8月16日まで）

決 算 期	第 150 期 ～ 第 155 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	1,812	2,012	86,254	95,822
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	1,934	2,012	92,179	95,822

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2021年2月16日から2021年8月16日まで）

作成期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

（2021年8月16日現在）

親投資信託残高

種 類	第 25 作 成 期 末		第 26 作 成 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	1,033,948	949,506	1,028,600	
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	1,080,895	990,650	1,036,121	

（注1）口数・評価額の単位未満は切捨て。

（注2）当作成期末におけるモルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,304,639千口、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,353,310千口です。

■投資信託財産の構成

（2021年8月16日現在）

項 目	第 26 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	1,028,600	49.2
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	1,036,121	49.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	24,411	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	2,089,132	100.0

（注1）モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（1,396,219千円）の投資信託財産総額（1,419,063千円）に対する比率は98.4%です。

（注2）モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（1,406,810千円）の投資信託財産総額（1,421,268千円）に対する比率は99.0%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年8月16日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.51円、1カナダドル=87.36円、1メキシコペソ=5.5068円、1ブラジルレアル=20.8608円、1ノルウェークローネ=12.42円、1トルコリラ=12.8698円、1ポーランドズロチ=28.2858円、1オーストラリアドル=80.53円、1ニュージーランドドル=77.01円、100インドネシアルピア=0.76円、1南アフリカランド=7.43円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年3月15日)、(2021年4月15日)、(2021年5月17日)、(2021年6月15日)、(2021年7月15日)、(2021年8月16日)現在

項 目	第 150 期 末	第 151 期 末	第 152 期 末	第 153 期 末	第 154 期 末	第 155 期 末
(A) 資 産	2,255,508,308円	2,222,393,904円	2,251,720,033円	2,237,090,557円	2,132,498,600円	2,089,132,832円
コール・ローン等	17,062,062	17,070,544	17,107,469	17,124,196	17,188,209	17,207,874
モルガン・スタンレー 先進国高 金利通貨マザーファンド(詳価額)	1,138,635,972	1,123,379,052	1,133,987,661	1,116,983,005	1,052,480,715	1,028,600,053
モルガン・スタンレー 新興国高 金利通貨マザーファンド(詳価額)	1,092,930,274	1,073,058,258	1,086,798,317	1,094,961,606	1,056,089,676	1,036,121,305
未 収 入 金	6,880,000	8,886,050	13,826,586	8,021,750	6,740,000	7,203,600
(B) 負 債	6,870,235	11,137,737	14,245,420	10,365,527	6,719,010	9,687,165
未 払 収 益 分 配 金	4,907,461	4,856,927	4,818,052	4,754,969	4,671,116	4,618,163
未 払 解 約 金	—	4,116,081	7,193,417	3,580,746	—	2,957,113
未 払 信 託 報 酬	1,791,322	1,975,641	2,038,813	1,852,506	1,869,013	1,927,413
未 払 利 息	42	42	44	42	40	42
そ の 他 未 払 費 用	171,410	189,046	195,094	177,264	178,841	184,434
(C) 純資産総額(A-B)	2,248,638,073	2,211,256,167	2,237,474,613	2,226,725,030	2,125,779,590	2,079,445,667
元 本	4,907,461,916	4,856,927,888	4,818,052,943	4,754,969,104	4,671,116,973	4,618,163,502
次期繰越損益金	△2,658,823,843	△2,645,671,721	△2,580,578,330	△2,528,244,074	△2,545,337,383	△2,538,717,835
(D) 受 益 権 総 口 数	4,907,461,916口	4,856,927,888口	4,818,052,943口	4,754,969,104口	4,671,116,973口	4,618,163,502口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,582円	4,553円	4,644円	4,683円	4,551円	4,503円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

- 作成期首元本額 4,942,007,334円
 作成期中追加設定元本額 8,765,616円
 作成期中一部解約元本額 332,609,448円
- 元本の欠損
 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は2,538,717,835円（第155期末）であります。

■ 損益の状況

第150期（自2021年2月16日 至2021年3月15日）、第153期（自2021年5月18日 至2021年6月15日）
 第151期（自2021年3月16日 至2021年4月15日）、第154期（自2021年6月16日 至2021年7月15日）
 第152期（自2021年4月16日 至2021年5月17日）、第155期（自2021年7月16日 至2021年8月16日）

項 目	第 150 期	第 151 期	第 152 期	第 153 期	第 154 期	第 155 期
(A) 配 当 等 収 益	△1,195円	△1,324円	△1,466円	△1,311円	△1,244円	△1,367円
支 払 利 息	△1,195	△1,324	△1,466	△1,311	△1,244	△1,367
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	27,862,772	△7,233,790	50,950,987	25,295,680	△55,009,414	△15,536,424
売 買 益	37,080,779	211,427	51,291,442	25,572,276	406,190	122,137
売 買 損	△9,218,007	△7,445,217	△340,455	△276,596	△55,415,604	△15,658,561
(C) 信 託 報 酬 等	△1,962,732	△2,164,687	△2,233,907	△2,029,770	△2,047,854	△2,111,847
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	25,898,845	△9,399,801	48,715,614	23,264,599	△57,058,512	△17,649,638
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△2,173,577,273	△2,129,753,071	△2,126,182,352	△2,054,364,176	△1,999,299,403	△2,036,989,802
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△506,237,954	△501,661,922	△498,293,540	△492,389,528	△484,308,352	△479,460,232
(配 当 等 相 当 額)	(4,866,491)	(4,843,788)	(4,834,145)	(4,801,069)	(4,746,770)	(4,724,811)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△511,104,445)	(△506,505,710)	(△503,127,685)	(△497,190,597)	(△489,055,122)	(△484,185,043)
(G) 計 (D+E+F)	△2,653,916,382	△2,640,814,794	△2,575,760,278	△2,523,489,105	△2,540,666,267	△2,534,099,672
(H) 収 益 分 配 金	△4,907,461	△4,856,927	△4,818,052	△4,754,969	△4,671,116	△4,618,163
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△2,658,823,843	△2,645,671,721	△2,580,578,330	△2,528,244,074	△2,545,337,383	△2,538,717,835
追 加 信 託 差 損 益 金	△506,237,954	△501,661,922	△498,293,540	△492,389,528	△484,308,352	△479,460,232
(配 当 等 相 当 額)	(4,867,610)	(4,845,410)	(4,835,731)	(4,802,360)	(4,748,031)	(4,726,056)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△511,105,564)	(△506,507,332)	(△503,129,271)	(△497,191,888)	(△489,056,383)	(△484,186,288)
分 配 準 備 積 立 金	88,919,880	91,163,014	96,213,700	98,421,920	98,219,366	98,935,119
繰 越 損 益 金	△2,241,505,769	△2,235,172,813	△2,178,498,490	△2,134,276,466	△2,159,248,397	△2,158,192,722

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(損益および剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

第150期計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,889,892円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(4,867,610円)および分配準備積立金(84,937,449円)より分配対象収益は98,694,951円(10,000口当たり201円)であり、うち4,907,461円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第151期計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,010,963円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(4,845,410円)および分配準備積立金(88,008,978円)より分配対象収益は100,865,351円(10,000口当たり207円)であり、うち4,856,927円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第152期計算期間末における費用控除後の配当等収益(10,607,019円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(4,835,731円)および分配準備積立金(90,424,733円)より分配対象収益は105,867,483円(10,000口当たり219円)であり、うち4,818,052円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第153期計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,213,624円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(4,802,360円)および分配準備積立金(94,963,265円)より分配対象収益は107,979,249円(10,000口当たり227円)であり、うち4,754,969円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第154期計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,181,555円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(4,748,031円)および分配準備積立金(96,708,927円)より分配対象収益は107,638,513円(10,000口当たり230円)であり、うち4,671,116円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第155期計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,445,503円)、費用控除後の有価証券等損益額(－円)、信託約款に規定する収益調整金(4,726,056円)および分配準備積立金(97,107,779円)より分配対象収益は108,279,338円(10,000口当たり234円)であり、うち4,618,163円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

■分配金

1万口当たり分配金（税込み）	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期
		10円	10円	10円	10円	10円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と特別分配金に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が特別分配金、残りの部分が普通分配金となります。
- ・特別分配金が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後個々の受益者の個別元本となります。

■お知らせ

該当事項はありません。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2021年2月16日～2021年8月16日)		
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	48円 (23) (23) (3)	0.521% (0.247) (0.247) (0.027)	a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	8 (3) (5) (0)	0.085 (0.035) (0.050) (0.000)	b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	56	0.606	

当期中の平均基準価額は、9,265円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

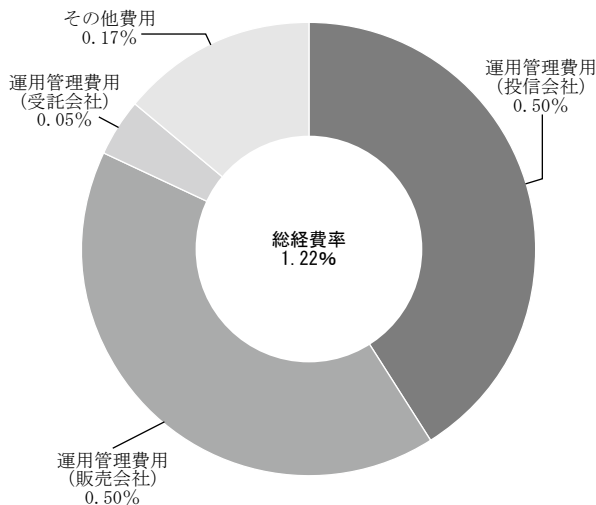
(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.22%です。



(注1) 各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2021年2月16日から2021年8月16日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	15,714	17,078	22,409	24,975
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	16,240	17,078	24,070	24,975

（注）単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況（2021年2月16日から2021年8月16日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

（2021年8月16日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	361,828	355,133	355,133	384,716
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	370,489	362,659	362,659	379,305

（注1）口数・評価額の単位未満は切捨て。

（注2）当期末におけるモルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,304,639千口、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,353,310千口です。

■ 投資信託財産の構成

（2021年8月16日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	384,716	49.9
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	379,305	49.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,294	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	770,315	100.0

（注1）モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,396,219千円）の投資信託財産総額（1,419,063千円）に対する比率は98.4%です。

（注2）モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,406,810千円）の投資信託財産総額（1,421,268千円）に対する比率は99.0%です。

（注3）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年8月16日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=109.51円、1カナダドル=87.36円、1メキシコペソ=5.5068円、1ブラジルレアル=20.8608円、1ノルウェークローネ=12.42円、1トルコリラ=12.8698円、1ポーランドズロチ=28.2858円、1オーストラリアドル=80.53円、1ニュージーランドドル=77.01円、100インドネシアルピア=0.76円、1南アフリカランド=7.43円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月16日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	770,315,400円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,933,371
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨 マザーファンド(評価額)	384,716,083
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨 マザーファンド(評価額)	379,305,946
未 収 入 金	4,360,000
(B) 負 債	4,353,725
未 払 信 託 報 酬	3,973,533
未 払 利 息	4
そ の 他 未 払 費 用	380,188
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	765,961,675
元 本	835,405,839
次 期 繰 越 損 益 金	△69,444,164
(D) 受 益 権 総 口 数	835,405,839口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,169円

■損益の状況

当期 (自2021年2月16日 至2021年8月16日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△809円
支 払 利 息	△809
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	7,697,884
売 買 益	8,836,099
売 買 損	△1,138,215
(C) 信 託 報 酬 等	△4,353,721
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	3,343,354
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△51,295,505
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△21,492,013
(配 当 等 相 当 額)	(44,157,215)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△65,649,228)
(G) 計 (D + E + F)	△69,444,164
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△69,444,164
追 加 信 託 差 損 益 金	△21,492,013
(配 当 等 相 当 額)	(44,232,872)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△65,724,885)
分 配 準 備 積 立 金	502,618,470
繰 越 損 益 金	△550,570,621

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	846,465,826円
期中追加設定元本額	36,978,546円
期中一部解約元本額	48,038,533円
2. 元本の欠損	
貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は69,444,164円であります。	

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(15,389,106円)、費用控除後の有価証券等損益額(一元)、信託約款に規定する収益調整金(44,232,872円)および分配準備積立金(487,229,364円)より分配対象収益は546,851,342円(10,000口当たり6,545円)であるが、基準価額水準、市況動向及び収益分配方針を勘案し、分配を行っておりません。

■分配金

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 込 み)	0円
-----------------------------	----

■お知らせ

該当事項はありません。

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド ー第13期ー
決算日 2021年8月16日／計算期間 (2020年8月18日から2021年8月16日まで)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、世界先進主要国の中で相対的に金利水準が高い通貨の中から、為替見通しを勘案して複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券および短期金融商品等に投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。 国別のファンダメンタルズ分析を行い、債券および通貨のバリュエーション分析等に基づいて国および銘柄を選定します。 市況動向、資金動向、投資環境の変化等により、上記のような運用ができない場合があります。
主要運用対象	世界先進主要国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、新株予約権付社債等の権利行使により取得した株券等に限り、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■ **運用経過** (2020年8月18日から2021年8月16日まで)

基準価額の主な変動要因

当期は、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で上昇したことや、安定したインカム・ゲインを獲得したことで、基準価額は上昇し、期首に10,396円でスタートした基準価額は期末には10,833円となりました。

投資環境

当初は新型コロナウイルスの感染動向や経済への悪影響が懸念されましたが、各国における金融緩和や財政面での各種支援策などを背景に、景気の回復が期待される中、高金利通貨は上昇する展開となりました。また、リフレ色が強まる中、コモディティ価格が上昇したことも、高金利通貨のサポート要因となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては先進国通貨の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。



(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

(1) 投資通貨について

期首時には、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

今期については、米ドルからカナダ・ドルへの入れ替えを行いました。カナダについては、2020年には経済の大きな落ち込みが見られた一方で、ワクチン接種の拡大や、金融政策及び財政政策による後押しにより2021年以降は力強い景気回復が見込まれます。加えて、グローバルに景気の回復傾向が見込まれる局面では、資源に対する需要の高まりを背景に、同国の主要輸出品である原油価格にも上昇圧力が加わる可能性が想定され、同国経済やカナダ・ドルがサポートされると考えられます。

以上の投資行動の結果、期末時点では、以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行っております。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
カナダ・ドル
ポーランド・ズロチ

(2) 投資債券について

国債を中心に組入れつつ、流動性が高く信用力も高いものの、国債よりも高い利回りを有していた国際機関債へ一部投資を行い、より高いインカム・ゲインの収益獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、先進国通貨の投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

マクロ環境に関しては、グローバルでのワクチン接種の拡大により経済の正常化が進展し、景気回復の加速が想定されます。短期的には感染再拡大に伴う不透明感の一方で、これまでの景気回復の進展等を受け、米国等において量的緩和政策の縮小等の議論が進む可能性があり、金融政策の動向次第では、金利市場をきっかけとする市場ボラティリティの上昇には留意が必要と考えています。しかし、大幅な需給ギャップ等を背景に、中長期的に懸念される程にはインフレは高まらないと考えております。そのような環境下、先進国主要中銀による緩和的な金融政策が長期化し、特に欧州や日本の債券市場を中心とした低金利環境が続く中、高金利通貨に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率			
(期 首) 2020年 8月17日	円		%	%	%
	10,396	—		97.6	—
8月末	10,434	0.4		97.7	—
9月末	10,125	△2.6		97.6	—
10月末	9,931	△4.5		98.2	—
11月末	10,368	△0.3		98.1	—
12月末	10,509	1.1		98.7	—
2021年 1月末	10,588	1.8		97.8	—
2月末	10,906	4.9		98.1	—
3月末	11,056	6.3		97.7	—
4月末	11,270	8.4		98.0	—
5月末	11,372	9.4		99.1	—
6月末	11,129	7.1		98.6	—
7月末	10,895	4.8		99.1	—
(期 末) 2021年 8月16日	10,833	4.2		98.5	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2020年8月18日～2021年8月16日)		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	4円 (4)	0.034% (0.034)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務処理に要するその他の諸費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	4	0.034	

当期中の平均基準価額は、10,715円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 (2020年8月18日から2021年8月16日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 3,149	千米ドル 6,065
	カナダ	国債証券	千カナダドル 3,563	千カナダドル 351
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 22,677	千ノルウェークローネ 27,399
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 21,365	千ポーランドズロチ 12,569 (9,760)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 4,182	千オーストラリアドル 5,020
国	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 3,793	千ニュージーランドドル 743 (3,750)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2020年8月18日から2021年8月16日まで)

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2021年8月16日現在)

公社債

(A) 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
カ ナ ダ	千カナダドル 3,190	千カナダドル 3,197	千円 279,322	% 19.8	% —	% —	% —	% 19.8
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークローネ 21,860	千ノルウェークローネ 22,381	277,972	19.7	—	—	—	19.7
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 9,926	千ポーランドズロチ 9,929	280,852	19.9	—	—	—	19.9
オーストラリア	千オーストラリアドル 3,400	千オーストラリアドル 3,423	275,695	19.5	—	—	—	19.5
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 3,690	千ニュージーランドドル 3,621	278,903	19.7	—	—	19.7	—
合 計	—	—	1,392,745	98.5	—	—	19.7	78.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

外国(外貨建)公社債

銘 柄	当 期			末		償 還 年 月 日
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(カナダ) CANADA	国債証券	% 1.25	千カナダドル 3,190	千カナダドル 3,197	千円 279,322	2021/11/1
小 計					279,322	
(ノルウェー) NORWAY	国債証券	2.0	千ノルウェークローネ 21,860	千ノルウェークローネ 22,381	277,972	2023/5/24
小 計					277,972	
(ポーランド) POLAND	国債証券	—	千ポーランドズロチ 9,926	千ポーランドズロチ 9,929	280,852	2022/7/25
小 計					280,852	
(オーストラリア) AUSTRALIA	国債証券	2.0	千オーストラリアドル 3,400	千オーストラリアドル 3,423	275,695	2021/12/21
小 計					275,695	

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

銘柄	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(ニュージーランド) NEWZEALAND	国債証券	% 0.5	千ニュージーランドドル 3,690	千ニュージーランドドル 3,621	千円 278,903	2024/5/15
小 計					278,903	
合 計					1,392,745	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2021年8月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,392,745	% 98.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	26,318	1.9
投 資 信 託 財 産 総 額	1,419,063	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産（1,396,219千円）の投資信託財産総額（1,419,063千円）に対する比率は98.4%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年8月16日における邦貨換算レートは、1カナダドル=87.36円、1ノルウェークローネ=12.42円、1ポーランドズロチ=28.2858円、1オーストラリアドル=80.53円、1ニュージーランドドル=77.01円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月16日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,419,063,079円
コール・ローン等	22,844,664
公 社 債(評価額)	1,392,745,689
未 収 利 息	3,453,421
前 払 費 用	19,305
(B) 負 債	5,781,856
未 払 解 約 金	5,781,800
未 払 利 息	56
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,413,281,223
元 本	1,304,639,654
次 期 繰 越 損 益 金	108,641,569
(D) 受 益 権 総 口 数	1,304,639,654口
1 万口当たり基準価額(C/D)	10,833円

■損益の状況

当期 (自2020年8月18日 至2021年8月16日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	41,845,306円
受 取 利 息	41,850,121
そ の 他 収 益 金	16
支 払 利 息	△4,831
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	21,468,186
売 買 益	71,685,552
売 買 損	△50,217,366
(C) 信 託 報 酬 等	△521,128
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	62,792,364
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	62,978,886
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,633,816
(G) 解 約 差 損 益 金	△18,763,497
(H) 計 (D+E+F+G)	108,641,569
次 期 繰 越 損 益 金(H)	108,641,569

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,591,550,214円
期中追加設定元本額	19,643,505円
期中一部解約元本額	306,554,065円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型)	949,506,188円
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (年2回決算型)	355,133,466円
期末元本額合計	1,304,639,654円

■お知らせ

該当事項はありません。

モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド ー第13期ー
決算日 2021年8月16日／計算期間 (2020年8月18日から2021年8月16日まで)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、新興国の中で相対的に金利水準が高い通貨の中から、為替見通しを勘案して複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券および短期金融商品等に投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。 国別のファンダメンタルズ分析を行い、債券および通貨のバリュエーション分析等に基づいて国および銘柄を選定します。
主要運用対象	新興国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、新株予約権付社債等の権利行使により取得した株券等に限り、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■運用経過 (2020年8月18日から2021年8月16日まで)

基準価額の主な変動要因

当期は、安定したインカム・ゲインを獲得した一方で、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で上昇したため、基準価額は上昇し、期首に9,441円でスタートした基準価額は期末には10,459円となりました。

投資環境

当初は新型コロナウイルスの感染動向や経済への悪影響が懸念されましたが、各国における金融緩和や財政面での各種支援策などを背景に、景気の回復が期待される中、高金利通貨は上昇する展開となりました。また、リフレ色が強まる中、コモディティ価格が上昇したことも、高金利通貨のサポート要因となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な新興国の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては新興国通貨の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。



(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

(1) 投資通貨について

期首時には、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

以上の投資行動の結果、期末時点では、以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行っております。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

(2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、新興国通貨の投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

マクロ環境に関しては、グローバルでのワクチン接種の拡大により経済の正常化が進展し、景気回復の加速が想定されます。短期的には感染再拡大に伴う不透明感の一方で、これまでの景気回復の進展等を受け、米国等において量的緩和政策の縮小等の議論が進む可能性があり、金融政策の動向次第では、金利市場をきっかけとする市場ボラティリティの上昇には留意が必要と考えています。しかし、大幅な需給ギャップ等を背景に、中長期的に懸念される程にはインフレは高まらないと考えております。そのような環境下、先進国主要中銀による緩和的な金融政策が長期化し、特に欧州や日本の債券市場を中心とした低金利環境が続く中、高金利通貨に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

新興国に関しては、先進国の緩和的な金融政策の継続に加えて、新興国通貨は景気回復局面で堅調な推移となる傾向があることもポジティブな要因として考えられます。中長期的観点から、米国の実質金利が依然として低いこと等は米ドル安要因として考えられ、米ドル安が進展することは新興国通貨のサポート要因として考えられます。一方、短期的には米国の量的緩和政策の縮小や利上げ開始時期などに不透明感があることに留意が必要と考えています。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入れ債券においては、各国の国債へ投資を行いつつインカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指し、各国の金融政策動向を分析することでキャピタル・ゲインからの収益獲得も目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率			
(期 首) 2020年 8月17日	円		%	%	%
	9,441	—		97.8	—
8月末	9,499	0.6		97.5	—
9月末	9,270	△1.8		97.0	—
10月末	9,188	△2.7		96.9	—
11月末	9,770	3.5		95.7	—
12月末	10,015	6.1		96.6	—
2021年 1月末	9,968	5.6		97.3	—
2月末	10,070	6.7		97.4	—
3月末	10,066	6.6		75.9	—
4月末	10,340	9.5		96.9	—
5月末	10,497	11.2		96.0	—
6月末	10,623	12.5		97.0	—
7月末	10,547	11.7		97.4	—
(期 末) 2021年 8月16日	10,459	10.8		97.2	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2020年8月18日～2021年8月16日)		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	10円 (10)	0.096% (0.096)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務処理に要するその他の諸費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	10	0.096	

当期中の平均基準価額は、9,987円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 (2020年8月18日から2021年8月16日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 1,064	千メキシコペソ 8,425
	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル 558	千ブラジルレアル 551
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 4,637	千トルコリラ —
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 36,672,450	千インドネシアルピア 2,469,617 (35,345,000)
国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 38,119	千南アフリカランド 5,720 (40,290)

(注1) 金額は受渡資金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2020年8月18日から2021年8月16日まで)

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2021年8月16日現在)

公社債

(A) 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区分	当 期			末				
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 51,100	千メキシコペソ 51,529	千円 283,761	% 20.0	% —	% —	% 0.4	% 19.6
ブラジル	千ブラジルレアル 12,545	千ブラジルレアル 12,770	266,401	18.8	18.8	—	—	18.8
トルコ	千トルコリラ 22,970	千トルコリラ 21,472	276,342	19.5	19.5	—	—	19.5
インドネシア	千インドネシアルピア 33,500,000	千インドネシアルピア 36,724,375	279,105	19.7	—	—	19.7	—
南アフリカ	千南アフリカランド 34,940	千南アフリカランド 36,341	270,019	19.1	19.1	—	—	19.1
合 計	—	—	1,375,630	97.2	57.4	—	20.1	77.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示
外国（外貨建）公社債

銘柄	当			期		償還年月日
	種類	利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(メキシコ)		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
MEXICO	国債証券	7.25	23,405	23,562	129,753	2021/12/9
MEXICO		6.5	26,693	26,918	148,235	2022/6/9
MEXICO		8.0	1,002	1,048	5,771	2023/12/7
小計					283,761	
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
BRAZIL	国債証券	10.0	12,545	12,770	266,401	2023/1/1
小計					266,401	
(トルコ)			千トルコリラ	千トルコリラ		
TURKEY	国債証券	9.2	3,200	3,172	40,833	2021/9/22
TURKEY		8.5	6,350	5,778	74,368	2022/9/14
TURKEY		12.2	13,420	12,520	161,140	2023/1/18
小計					276,342	
(インドネシア)			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
INDONESIA	国債証券	8.375	33,500,000	36,724,375	279,105	2024/3/15
小計					279,105	
(南アフリカ)			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
SOUTH AFRICA	国債証券	7.75	34,940	36,341	270,019	2023/2/28
小計					270,019	
合計					1,375,630	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2021年8月16日現在)

項目	当		末
	評価額	比率	
公社債	千円	%	
コール・ローン等、その他	1,375,630	96.8	
投資信託財産総額	45,638	3.2	
	1,421,268	100.0	

(注1) 当期末における外貨建純資産（1,406,810千円）の投資信託財産総額（1,421,268千円）に対する比率は99.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年8月16日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.51円、1メキシコペソ=5.5068円、1ブラジルレアル=20.8608円、1トルコリラ=12.8698円、100インドネシアルピア=0.76円、1南アフリカランド=7.43円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月16日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,421,268,964円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	14,947,898
公 社 債(評価額)	1,375,630,030
未 収 利 息	22,742,048
前 払 費 用	7,948,988
(B) 負 債	5,781,835
未 払 解 約 金	5,781,800
未 払 利 息	35
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,415,487,129
元 本	1,353,310,309
次 期 繰 越 損 益 金	62,176,820
(D) 受 益 権 総 口 数	1,353,310,309口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	10,459円

■損益の状況

当期 (自2020年8月18日 至2021年8月16日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	122,605,097円
受 取 利 息	122,607,923
支 払 利 息	△2,826
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	27,568,817
売 買 益	133,016,393
売 買 損	△105,447,576
(C) 信 託 報 酬 等	△1,389,677
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	148,784,237
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△84,170,757
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	829,677
(G) 解 約 差 損 益 金	△3,266,337
(H) 計 (D+E+F+G)	62,176,820
次 期 繰 越 損 益 金(H)	62,176,820

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,507,045,922円
期中追加設定元本額	20,457,644円
期中一部解約元本額	174,193,257円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型)	990,650,450円
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (年2回決算型)	362,659,859円
期末元本額合計	1,353,310,309円

■お知らせ

該当事項はありません。